

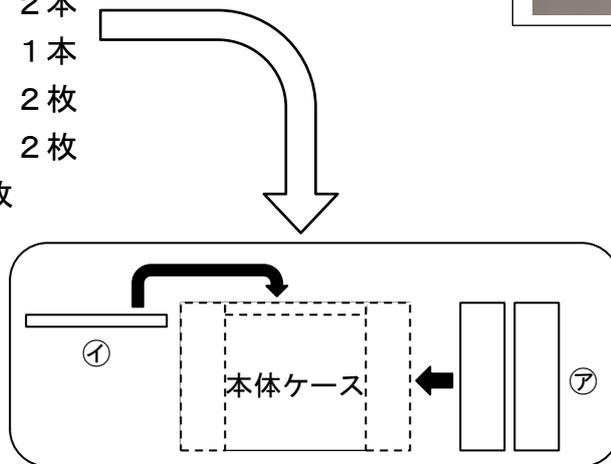
29年度東部地区公開講座（絵合わせパズル）のレシピ

<ねらい、目的>

手本の絵を見たり下絵を敷いたりして、積木を組み合わせることで、視覚空間認知の力を高めます。指先を使う練習にもなります。

<材料>

- ・積木 9個
- ・パズルの絵を印刷したシールシート 1枚
- ・パズルの絵を印刷した紙 2枚
- ・ラミネートフィルム 1枚
- ・発砲スチロール板 ㊦ 2本
（片面シール） ㊧ 1本
- ・マジックテープ 甲 2枚
乙 2枚
- ・透明カードケース 1枚
- ・本体ケース 1個



<作り方>

- ① 発砲スチロール板を本体ケースに貼り付けます。
- ② 透明カードケースと本体をマジックテープで貼り付けます。
- ③ パズルの絵を印刷したシールシートを、絵柄ごとに6枚に切ります。
- ④ ③の6枚の絵柄を、線に沿って9枚のパーツに切ります。切ったパーツが混ざらないように、6種類の絵柄ごとに分けておきます。
- ⑤ 積木に④を貼ります。
※6種類の絵柄からパーツを1枚ずつ取り、1つの積木の全ての面に1枚ずつ貼ります。貼る向きや場所はランダムでよいです。それを9回繰り返し、9個の積木を完成させます。
- ⑥ パズルの絵を印刷した紙2枚を、絵柄ごとにそれぞれ6枚に切ります。
- ⑦ 切った絵柄を裏表両面になるようにのりで貼り付け、片面6枚を両面3枚にします。
※どの絵が裏表になってもよいです。枠線の太さが2種類あるので注意してください。
- ⑧ ⑦をラミネートフィルムに並べて軽くのりで貼り付け、ラミネートをかけます。ラミネートをかけたら絵柄ごとに6枚に切り、透明カードケースに収納します。
※1セットは積木の下に敷く下絵、もう1セットは手本になります。

<使い方>

- ・キャラクター2種、食べ物、色、数、しりとりと、段階を踏んだ構成になっています。
- ・パズルを組み合わせるときは、下絵を敷いて組み合わせたり、手本の絵を見て組み合わせたりと、実態に応じていろいろな使い方ができます。